



大分商工会議所青年部
平成30年度 第37代会長
水野 貴博

平成30年度スローガン

「継承×創造」～新たな歴史を創る開拓者であれ～

この度、大分商工会議所青年部 平成30年度会長を務めるにあたり、ご挨拶を申し上げます。

創立37年目となる大分商工会議所青年部（大分YEG）は、県都最大の祭りでもあり今では夏の風物詩となった「府内戦紙」の運営をはじめ、YEGの九州ブロック大会や全国大会の誘致、地域への貢献活動ほか数多くの事業を実施して参りました。

地域を支える青年経済人として地域経済の発展や次世代リーダーとしての自己成長など、会員それぞれが想いをもって社業とは別に活動をしております。年間通じて事業を成し遂げるには莫大な時間と労力がかかります、私たちだけでは成し得ない規模の事業、例えば府内戦紙にしても歴代の先輩方の大変な努力と積み重ねによって私たちの基礎が築かれ、また支えて下さる皆様方がいることに深く感謝を申し上げます。

さて、本年度スローガンを「継承×創造」～新たな歴史を創る開拓者であれ～と致しました。私たちがYEGとして考え行動するための根幹は綱領と指針、そして歴史です。それらを基に様々な事業に挑戦する中で、会社だけでは得ることの出来ない貴重な学びや経験、志をともにする多くの仲間を得ることが出来ます。

一方で事業実施には課題や問題も山積しており、その解決策を探る支えとなるのは歴史や経緯、また先輩方から引き継いできた想いでした。

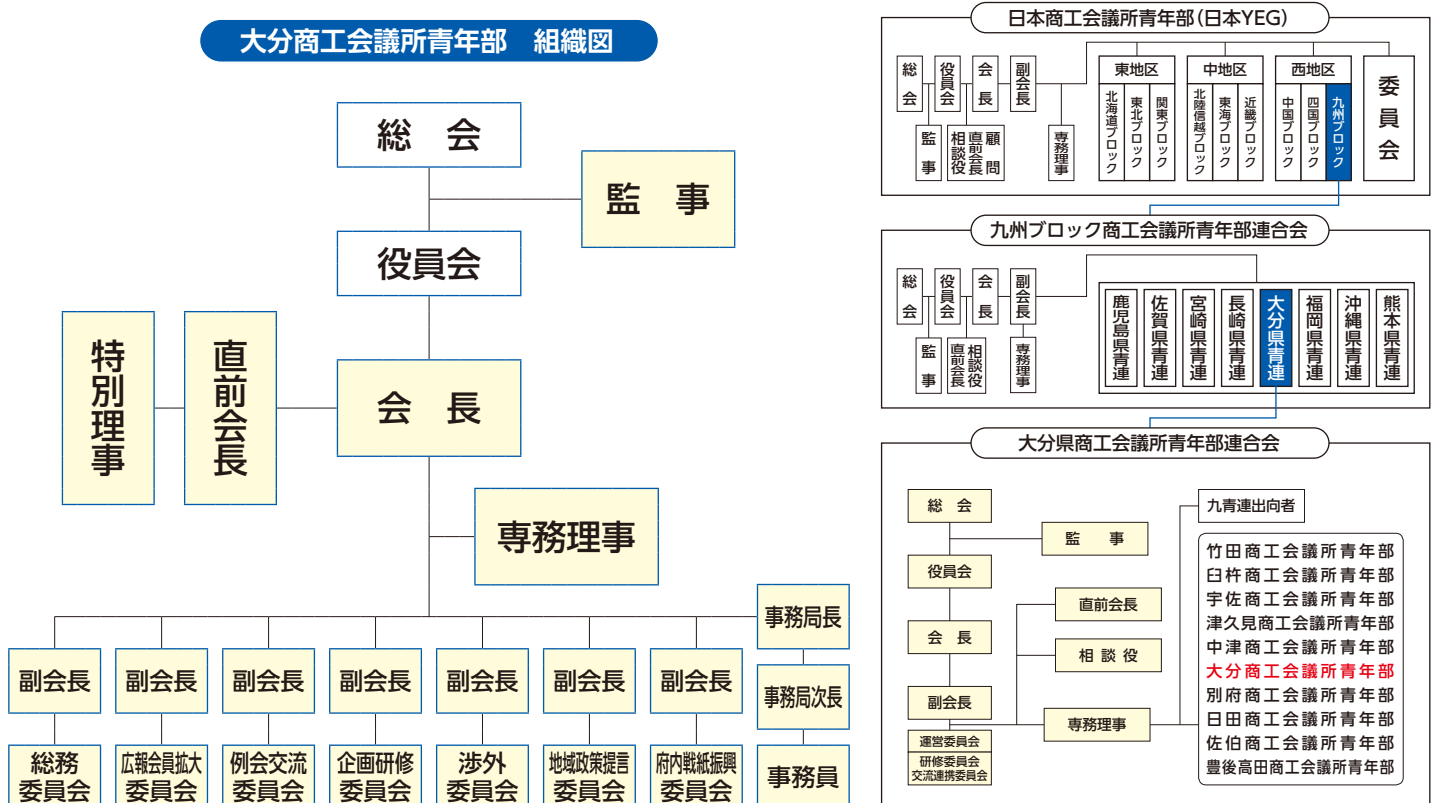
私たちはYEGとして地域を愛し日本を愛する。自社の発展だけでなく地域社会の発展を目指す青年経済人として、私たちは愛する郷土のために想いを継承し未来を創造します。

これまで誘致活動を行ってきた日本商工会議所青年部全国会長研修会の大分市開催が平成32年度に内定し、その翌年には大分YEG創立40周年と全国各地から多くの青年経済人が集う事業を控えております。本年度は大会準備の年ではありますが、だからこそ深謀遠慮をもって行動すべきだと考え、会員全体の協力強化と個々が研鑽を積める年にしたいのです。

この機会に改めて歴史や想いをしっかりと継承し、未来の郷土のために、未来のYEGのために、未来の先導者となる自分自身のために一年間、ともに歩んで参ります。

どうぞよろしくお願い致します。

平成30年度 大分商工会議所青年部 組織図



平成30年度 委員会活動計画

●総務委員会

1. 基本方針

総務委員会はYEG活動を行うにあたり、緑の下の力持ちの委員会と考えます。今年度も事務局と各委員会との連携を密にし、青年部の活動が円滑に行えるような環境を整えます。

総務委員会の大きな役割のひとつが役員会の準備運営、議事録作成です。毎月、各委員に役割を決め準備を進めたいと考えます。

また資料作成能力の向上は、議事録等を作成する際に必要であり、会員が持ち帰り各自の社業にも活かすことができるように積極的に取り組みます。

積極的な発言や、協力体制で会員皆が自発的に動き、その姿を大分市民にも見せることにより、会員拡大にもつなげられるような活動を行いたいと思います。

2. 事業及び活動計画

- (1) 通常総会・臨時総会の準備運営
- (2) 役員会の準備運営
- (3) 役員オリエンテーションの開催
- (4) 規約、規則の見直し
- (5) 資料作成能力の向上指導
- (6) エンジェルタッチの推進
- (7) 会員拡大に向けた取り組み
- (8) 会員の参加率向上

●広報会員拡大委員会

1. 基本方針

広報会員拡大委員会は、青年部活動の事業告知や活動報告をホームページ、Facebook、各種媒体を通じて各委員会と連携しながら発信し、大分YEGの魅力さをさらに広く認知させる事を目的とします。地域、市民が我々に抱いている期待を持ち帰り、発信だけの一方ではなく会員と情報を共有するような双方向での情報を収集していきます。

会員間への情報発信は、青年部活動はもとよりビジネスパートナーとして繋がれるよう、あきない告知などを活用して事業のPRを促進します。

我々は、会長研修会や単会40周年を控え、会員の増強は来たる大きな事業を成功させる為に必要不可欠な項目です。なぜ会員を増やすことに意義があるのかを、全会員が共通の認識を持ち、各人が拡大を目的とする行動ができる環境を作ります。入会後のメリットを各々が伝播することで大きな発信力となります。今日までの拡大活動を継承し、新たな会員拡大活動に繋がる事業を行っていきます。

2. 事業及び活動計画

- (1) 活動の記録と広報への有効利用
- (2) エール記事の作成
- (3) ホームページの管理運営
- (4) Facebookの管理運営
- (5) 会員拡大に向けた取り組みと管理
- (6) 会員の参加率向上

●例会交流委員会

1. 基本方針

例会交流委員会ではスムーズな例会進行、創意と工夫を凝らした運営を行います。

また諸先輩方が守って下さった大分YEGの精神を継承し発展させるために、単会内交流事業を積極的に設けるとともに会員の参加率向上にも努めます。

さらに他単会交流事業の別府YEG合同例会や新年会頭講話の実施、会員間のビジネス交流推進を行い新入会員の親睦交流にも努めます。

最後に、例会としての意義を今一度考え、より良い例会運営を行います。

2. 事業及び活動計画

- (1) 例会の準備・運営
- (2) 別府YEGとの合同例会の企画・運営
- (3) 新年会頭講話の開催
- (4) 単会内交流事業の開催
- (5) 新入会員同士の親睦交流促進
- (6) 会員間のビジネス交流推進
- (7) 会員拡大に向けた取り組み
- (8) 会員の参加率向上

●企画研修委員会

1. 基本方針

大分YEGは、夏の一大事業である府内戦紙に加え、今後様々な事業を控えています。そのような中、これまで大分YEGを支え牽引してきた経験豊富な世代が次々と卒業を迎えています。先輩方から貴重な経験や想いを継承し、今後のYEG活動、社業に繋げ、地域を支える青年経済人として更なる自己研鑽が必要であると考えます。

企画研修委員会は、改めてYEGについて学ぶ研修会、外部講師を招いた研修会の検討、単会外研修事業への参加など、会員の資質向上を目的とした研修会の企画・運営を行います。また、委員会事業を通じて、これからの大分YEGの未来を担っていくという想いを共有できる仲間を増やし、参加率の向上、会員拡大に繋がるよう活動していきます。

2. 事業及び活動計画

- (1) 資質向上を目的とした研修会の企画・運営
- (2) YEGについて内部研修会の企画・運営
- (3) 外部講師を招いた研修会の検討
- (4) 単会外研修事業の企画・運営
- (5) 会員拡大に向けた取り組みと管理
- (6) 会員の参加率向上

●渉外委員会

1. 基本方針

渉外委員会では、「未来に向け仲間全員で学び継承する」を目標に1年間活動していきます。

平成32年度全国会長研修会に向け各種大会への参加をすることで学びそれを活かし実行していきます。その為に県青連事業、会員大会、九州ブロック大会、全国大会などの単会外活動に積極的に参加するよう呼びかけ、多くの会員が参加することにより他単会との交流もでき、連携も生まれ、平成32年度全国会長研修会を大成功に導くことができると確信しているので、当委員会では、単会外活動へ参加することの魅力を発進し、多くの参加者を募ります。

また、全国会長研修会開催候補地現地視察に向け委員会全員で丸となって、全力で取り組みます。

さらに、友好YEG宣言13周年目を迎える長崎単会との交流を継続し行い、「ながさきみなとまつり」には1人でも多くの会員が参加できる様に努め、更なる交流を目標とします。

以上の方針で、多くの仲間と他単会活動に参加し学び、他単会との交流・連携を深め、仲間全員で未来に継承していきます。

2. 事業及び活動計画

- (1) 他単会、他団体との折衝・対応
- (2) 各種大会への参加・支援
- (3) 大会旅程の管理
- (4) 平成32年度 全国会長研修会の準備
- (5) 平成32年度 全国会長研修会のPR活動
- (6) 全国会長研修会開催候補地現地視察の準備運営
- (7) 会員拡大へ向けた取り組み
- (8) 会員の参加率向上

●地域政策提言委員会

1. 基本方針

大分商工会議所青年部規約上、当部の事業として、商工行政・観光・税務等に関する調査研究・提言等が挙げられているとおり（大分商工会議所青年部規約第4条）、政策提言は当部の一大事業です。

そして、当部は、「地区商工業の発展に寄与すること」を目的とする組織であり（同第1条）、政策提言はかかる目的を達成するための事業です（同第4条）。

これらの点を再認識した上で、上記目的ないしは「豊かで住みよい郷土づくりへの貢献」（商工会議所青年部「綱領」）という目的を少しでも達成するべく、そのやりがいを委員間で共有しつつ調査・研究を協同し、地域行政と連携のもと、大分で産業を営む青年経済人の立場から、地域に密着した提言を行います。

また、府内南蛮ライティングを通じた地域貢献活動について、事業としての継続可能性を様々な角度から検討し、実施の可否を検討します。

2. 事業及び活動計画

- (1) 地域貢献活動事業の企画運営
- (2) 政策提言に向けた調査・研究
- (3) 政策提言書の作成
- (4) 会員拡大に向けた取り組み
- (5) 会員の参加率向上

●府内戦紙振興委員会

1. 基本方針

私達は先輩から脈々と「継承」している大分県下最大の祭り『府内戦紙』をより良き祭りにしていきます。

時代の変化に対応し、受け継いだ文化に「創造」を掛け合わせ、更に大分の誇りになる『府内戦紙』にしていくとともに、会員の参加率向上を図ることで、多くの意見を集約・議論する場を作り全体に解かりやすく濃密な実行委員会、運行委員会を準備運営します。

会員はもとより、参加団体、参加者、関連企業、来場者が安全かつ効率的で楽しめるように、各部会と連携し、報告・連絡・相談を重視し府内戦紙・大分七夕まつり2日目の運営統括を行い『府内戦紙』を成功に導きます。

未来の『府内戦紙』へ向け、更に良き祭りに進化させ「継承」していくため、必要などころは運営体制を改善・構築していきます。

また、府内戦紙研修等を行い『府内戦紙』の更なる周知に努めます。

これらのことを全員が情熱と誇りをもって、「笑顔」で取り組めるよう創意工夫をしていきます。

2. 事業及び活動計画

- (1) 府内戦紙・2日目運営の統括
- (2) 実行委員会・運行委員会の準備運営
- (3) 府内戦紙研修の実施
- (4) 会員拡大に向けた取り組み
- (5) 会員の参加率向上